

第1圖 兩國橋驛平面圖、圖中の木屋隣のホームを含む線路は所謂御茶ノ水驛との連絡線で
工事未着手のものである。

中位の停車場として模範たる

兩國橋驛擴張工事

鐵道省東京第一改良事務所 技師 山口 繁

本工事は復興計畫による兩國橋龜戸間線路増設工事の一部に關聯し施行したるものにして、昭和二年五月より順次施工し、目下大部分竣成し、同五年度に於て大略完成の豫定なり。

本工事の總豫算額は2,172,981圓にして内譯

用地費 27,400圓
土木費 999,580圓
建物費 1,146,001圓

(乗降場地下道等を含む)

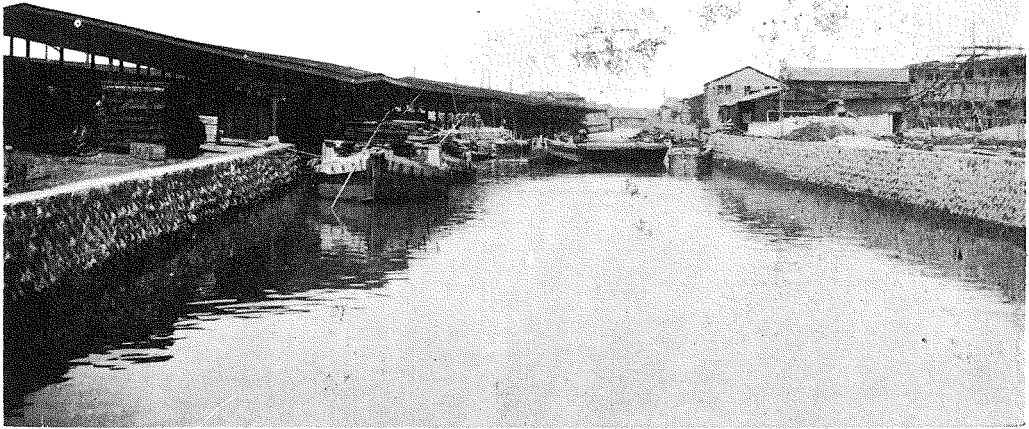
而して本驛は旅客關係設備は高架式にして貨物關係設備は隅田川より連絡する舟運の利用に依り低地にあり、故に高架線と40分の1の勾配を以て連絡す。

旅客關係設備に就いて説明すれば乗降場 出發及到着の2ヶ所にして出發は延長243.84米巾9.144米、上家2,405.012平方米にして、到着は延長274.32米巾9.601米、上家2,392.127平方米にして、何れも擁壁は柱式コ

ンクリート造、表面はアスファルトブロック鋪装をなし並行す。出發到着兩乗降場間線路下に手荷物地下道を設け、乗降場の中間に於て分岐し、各昇降機を設備す。又木屋より乗降場には各乗降場下の地下道によりて連絡す。

木屋 鐵骨鐵筋コンクリート二階建にして一階は出札所、待合室、手小荷物扱室、驛長室其他に用ひ、二階は會議室、驛員休憩室、電信室、食堂等を使用し、中二階に切符保管室を設く。又洗滌線スラブ下を利用し中繼小荷物扱室、中繼小荷物通路、待合室、電話室驛長室其他を設く。地下室には調理室、汽罐室、淨化槽等あり。木屋の總坪數は3,852平方米にして、1階1,492平方米、2階652.2平方米其他に改札上家集札上家等あり。

木屋工事は昭和3年9月起工、4年9月竣功せるものにして、請負工事費額304,797圓、錢高組の請負とす。



第2圖 兩國橋驛擴張工事、兩國橋構内左側、入船場及び舁扱貨物積卸場

本屋前は幹線第24號道路に接續し、市電車は驛前に運轉す。該道路より人車馬の出入に便利ならしむる爲、鋪裝工事を施し歩行者の通路自動車馬車等の通路置場等を設置す。本屋の使用開始は昭和4年12月下旬なり。

客車洗滌線は一部をスラブ橋とし他は盛土とす。盛土部分は假本屋撤去後施行するものとす。

本線の右側横綱町より龜澤町に至る間のコンクリート擁壁は兩國橋龜戸間線路増設工事の一部として施行したるものにして、將來お茶のノ水兩國間電車線新設の曉に該電車線の一部として使用するものにして、又此擴張工事の一部を爲せり。

貨物關係設備 從來の舁扱貨物積卸場を改築し擁壁をコンクリート造とし、舟溜への勾配を約 $\frac{1}{8}$ とし舟車の連絡を便にし、又荒荷扱貨物積卸場及車馬の通路を改築し、貨物の出入に便じ、更に陸扱貸切及小口扱貨物積卸場を新設す。貸切扱積卸場は巾10.67延長91.44米の計畫にして目下延長63米竣成、小口扱貨物積卸場は巾10.67延長138.38米の計畫にして目下延長76.2米竣成せり。共に上家を設く。此積卸場は從來の假本屋移轉後に於て殘部を

竣成せしむる豫定なり。他の貨物扱所等は既に夫々竣功り。此貨物設備完成の曉に於て兩國驛に於て取扱ひ得べき貨物數量は1ヶ年約1,290,000噸なり。

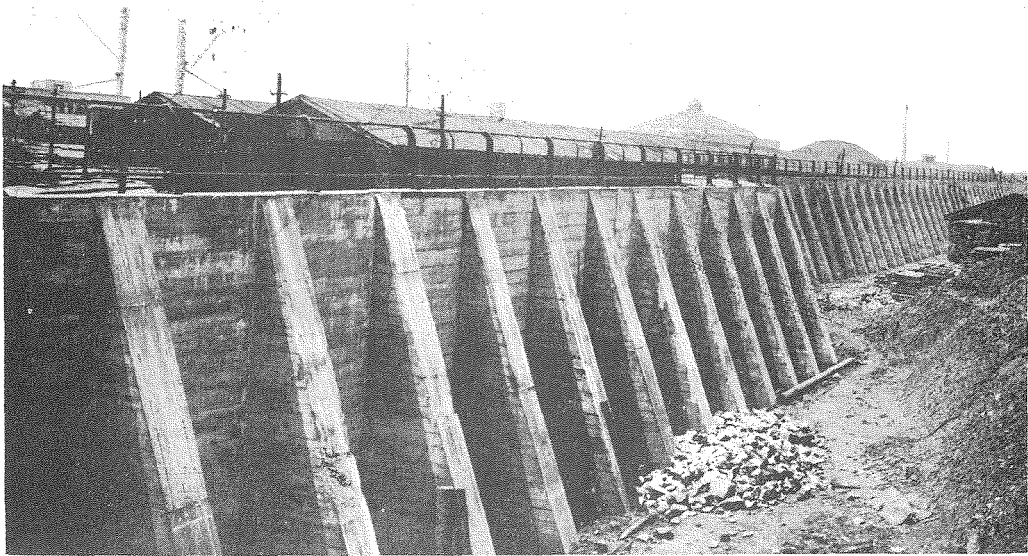
又兩國橋錦糸堀町間龜澤町橋梁より綠町一丁目に至る間は、從來鐵桁式高架線なりしをスラブ橋及盛土に改築し、側線を1條増設す。

高架線路は乗降場其他の改築に伴ひ、其時々切換をなせり。構内高架線より貨物線に至る線路は延長の關係上 $\frac{1}{40}$ 勾配により連絡するを以て、在來の線路を横斷し切換を要するに依り、或は假線の敷設、移轉其他非常の苦心を以て列車運轉の間合に施行するものとす。

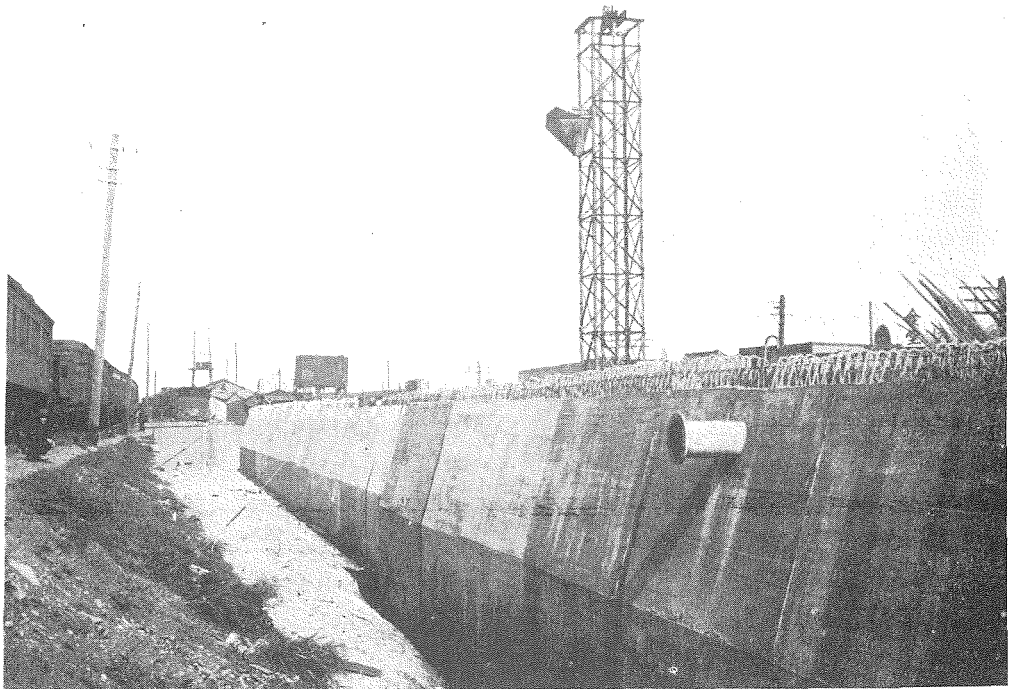
今後施行すべき重なる工事としては、假本屋撤去後陸扱貸切及小口扱貨物積卸場の殘部洗滌線盛土、擁壁、計量臺、高架線及貨物線、線路切換其他諸建物の移轉、新築等にして之を以て完成するものとす。

本驛は房總半島循環運轉に伴ひ、旅客の交通頻繁なるに加へ千葉附近には軍隊所在し、帝都より房總方面に到る實に樞要なる關門たり。往年の大震災に依る復舊さして本擴張工事施行を要する所以も亦茲にあり。(4.12.10)

(編者より、兩國驛本屋建築に就ては次號詳報)



第3圖 兩國橋龜戸間線路増設工事の一部、兩國橋驛構内右側、扶壁式鉄筋コンクリート擁壁背面。此附近地盤不良のため杭打基礎の上に壁體重量の輕き扶壁式を施行せり。



第4圖 兩國橋龜戸間線路増設工事の一部、兩國橋驛構内右側のコンクリート擁壁背面の景である。此邊地盤稍々良好でグラビチーウォールである。壁上の鉄筋は將來御茶ノ水線の新設ホームのコンクリート繼ぎとなるもの。



第5圖 兩國橋龜戸間線路増設工事の一部、總武本線0哩17鎖附近、龜澤町スラブ橋工事中
(昭和4年10月24日)



第6圖 同上、龜澤町スラブ橋基礎杭打工事中の景